

参考資料

現行の三遠南信地域連携ビジョン概要版

平成 20 年 3 月策定

三遠南信 **250** 万流域都市圏 の創造

—世界につながる日本の中央回廊—

三遠南信地域は、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域からなる 3 県の県境地域です。人口 230 万人、豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化は、都道府県にも匹敵する大きなポテンシャルを有しています。近年、市町村合併や広域交通ネットワークの整備による地域構造の変化、また、道州制や国土形成計画など国の地域づくり制度の検討が進められる中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、「**三遠南信地域連携ビジョン**」を策定しました。

「**三遠南信 250 万流域都市圏の創造—世界につながる日本の中央回廊—**」をテーマとし、三遠南信に対する思いと活動のベクトルを一致させることにより、相乗効果を發揮し、地域の振興発展を加速させていくことを期待しています。

■ 三遠南信地域連携ビジョンを策定するに当たって以下の 5 つの目的があります。

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■ 目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、**概ね 10 年間**とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定めました。

■ 策定体制

○三遠南信サミット

三遠南信地域の市町村長や議会、経済団体の代表、地域住民、国、県の関係機関などが一堂に集まるこの場で、三遠南信地域連携ビジョンを審議し、決定しました。

○三遠南信地域連携ビジョン検討委員会

三遠南信サミットから委嘱を受けた地域住民や大学、経済界、行政の代表で組織し、オブザーバーである国、県の意見を反映しながら、検討案を策定し、三遠南信サミットへ提案しました。

○幹事会

三遠南信地域の行政、経済界、国、県の実務者レベルで組織し、検討委員会の審議に向け、関係間で調整しました。

■ ポテンシャルから導き出される 5 つの課題

三遠南信地域のポテンシャルから、地域連携ビジョンを策定するまでの課題として、次の 5 点を挙げました。

- 中部圏における「**自立した世界的都市圏**」としての機能強化
- グローバル化や産業構造に変化に対応した「**国際的な産業競争力**」の強化
- 自然や歴史に育まれた地域文化を活かした「**地域アイデンティティ**」の確立
- 天竜川・豊川流域圏において自然資源、人的資源、産業資源など補完と連携による「**流域循環圏**」の構築
- 道州制を見据えた「**県境を越える広域的な地域連携政策機能**」の構築

■ 三遠南信地域連携ビジョンのテーマ

三遠南信 250 万流域都市圏の創造 一世界につながる日本の中回廊一



■ 目指すべき地域像

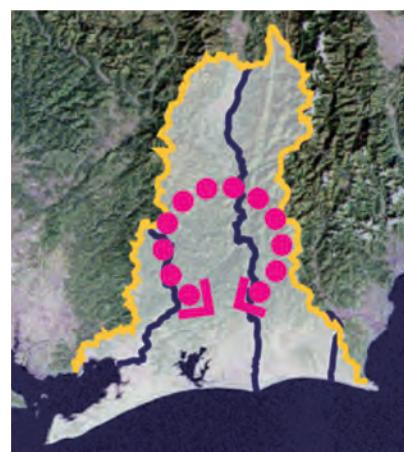
① 日本の中央回廊の形成

太平洋側と日本海側の両地域を東西日本を中心で結びます。



② 大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成

伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築します。



③ 流域循環圏の形成

上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「**流域循環圏**」を構築します。

■ ゾーニング

三遠南信地域を東名高速道路、第二東名高速道路などを境界として、3つのエリアにゾーニングし、整備方針を掲げました。

①既存集積ゾーン

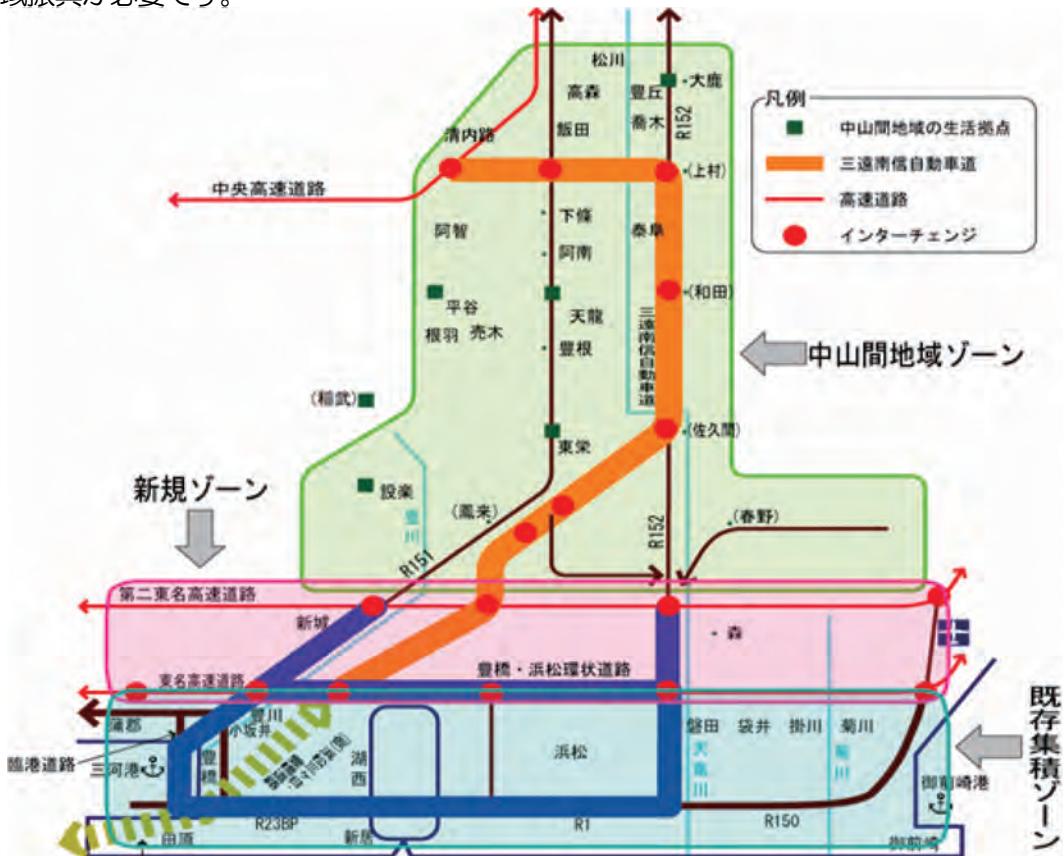
三遠南信地域南部のJR東海道線、東名高速道路に沿った地域は、特色をもった都市が連続しており、高度な都市機能力集積しています。広域幹線道路として、東名高速道路や国道1号の東西幹線が地域を貫き、圏域の東西には三河港や御前崎港の国際港湾を擁しています。政令指定都市・浜松と中核市・豊橋とを広域交通網や情報網でより緊密に結びつけ、圏域の核として一的な経済・文化圏を形成することにより、圏域全体の発展を牽引します。

②新規ゾーン

東名高速道路と第二東名高速道路に挟まれた地域で、住居系の郊外市街地と都市近郊農業地帯が混在する地域です。今後は、第二東名高速道路の開通に伴い、インターチェンジ周辺等への新たな産業集積が期待されます。浜名湖や地域の森林などの自然環境との調和を保ちつつ、バランスのとれた土地利用が必要です。

③中山間地域ゾーン

圏域北部の中山間地域は、過疎化・高齢化が進んでいる地域です。優れた自然環境の保全を基調とし、ライフスタイルの多様化に対応した交流人口の拡大を進めます。三遠南信自動車道の整備により、特色ある地域資源を活かすとともに、新規ゾーンや既存集積ゾーンとの活発な交流による地域振興が必要です。



■ 連携事業の施策体系

三遠南信地域の目指すべき地域像を踏まえたテーマを達成していくため、5つの政策の基本方針を設けました。

